

[症例概要]

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
1	男 70代	2型糖尿病 (高血圧, 肺気腫)	0.75mg/週 不明(実際 の投与頻度 不明)	胆嚢炎 投与開始16日前 投与開始前 投与開始日 投与開始後 投与47日後 (投与中止日) 中止8日後 中止10日後 中止11日後 中止25日後 中止28日後	ALT:30IU/L, AST:30IU/L, ALP:264IU/L, T-Bil:0.5mg/dL, γ -GTP:39IU/L, LDH:210IU/L, WBC:4,600/ μ L。 血糖コントロールを目的として教育入院。その際には胆石、胆嚢炎はなし。 2型糖尿病に対しデュラグルチド(本剤)0.75mgを投与開始。本剤投与開始以降、 γ -GTPが上昇傾向にあった。 本剤を投与中止しリナグリプチンに切り替え。 腹痛の訴えあり。CTにて胆泥を確認。 胆嚢炎により入院。経皮経肝胆嚢ドレナージ術実施。リナグリプチン、インスリングルルギン、メトホルミンの投与中止。 T-Bil:1.2mg/dL, D-Bil:0.6mg/dL, γ -GTP:1,028IU/L, WBC:19,900/ μ L。 ALT:70IU/L, AST:121IU/L, ALP:687IU/L, LDH:332IU/L, CRP:30.01mg/L。 ALT:27IU/L, AST:31IU/L, ALP:337IU/L, T-Bil:0.5mg/dL, D-Bil:0.2mg/dL, γ -GTP:238IU/L, LDH:252IU/L, CRP:3.63mg/L, WBC:4,300/ μ L。 胆嚢炎は軽快し、患者は経過観察中。	
臨床検査値						
			開始16日前	中止10日後	中止11日後	中止25日後
			30	-	70	27
			30	-	121	31
			264	-	687	337
			0.5	1.2	-	0.5
			-	0.6	-	0.2
			39	1,028	-	238
			210	-	332	252
			4,600	19,900	-	4,300
			-	-	30.01	3.63
併用薬：リナグリプチン，インスリングルルギン，メトホルミン						
備考：企業報告						